

2年学年だより

大淀中学校2年 平成29年12月20日 第34号

!(!^~)!愛する子供たちへ

どこの国の何という人物が作詞したのかは、知らない。年老いた私が、愛する子供たちにむけたメッセージだ。

屋島教頭先生からこの詩を紹介され、帰りの電車でコピーを目にしたとき、涙を禁じ得なかった。

少し長いですが、全文掲載します。じっくり読んでください。

樋口 了一で検索すれば、パソコンで読むことができます。

【作詞】不詳

【訳詞】角 智織

【日本語補詞】樋口 了一

【作曲】樋口 了一

年老いた私が ある日 今までの私と 違っていたとしても
どうかそのままの 私のことを 理解して
欲しい
私が服の上に 食べ物をこぼしても 靴ひ
もを結び忘れても
あなたに色々なことを 教えたように 見
守って欲しい

あなたと話す時 同じ話を何度も何度も
繰り返しても
その結末を どうかさえぎらずに うなず
いて欲しい
あなたにせかまれて 繰り返し読んだ絵本
の あたたかな結末は
いつも同じでも 私の心を 平和にしてく
れた

悲しいことではないんだ 消えて去って行
くように 見える私の心へと
励ましの まなざしを 向けてほしい

楽しいひと時に 私が思わず下着を濡らし
てしまったり
お風呂に入るのを いやがることには
思い出して欲しい
あなたを追い回し 何度も着替えさせた
り 様々な理由をつけて
いやがるあなたと お風呂に入った 懐か
しい日のことを

悲しいことではないんだ 旅立ちの前の準
備をしている私に
祝福の祈りを捧げて欲しい

いずれ歯も弱り 飲み込むことさえ 出来
なくなるかも知れない
足も衰えて 立ち上がる事すら 出来なく
なったなら
あなたが か弱い足で 立ち上がろうと
私に助けを求めるように
よろめく私に どうかあなたの 手を握ら
せて欲しい

私の姿を見て 悲しんだり 自分が無力だ
と 思わないで欲しい
あなたを抱きしめる力が ないのを知るの
は つらい事だけど
私を理解して支えてくれる心だけを 持
っていて欲しい

きっとそれだけで それだけで 私には勇
気が わいてくるのです
あなたの人生の始まりに 私がしっかり
と 付き添ったように
私の人生の終わりに 少しだけ付き添って
欲しい

あなたが生まれてくれたことで 私が受け
た多くの喜びと
あなたに対する変らぬ愛を 持って笑顔で
答えたい

私の子供たちへ
愛する子供たちへ

年老いた私が、愛する子供たちに向けたメッセ
ージです。君たちがこんなメッセージを発するのは、ま
だまだ先のことになりますが、こんなメッセージをい
つかは受け取るのですよ。

祖父を、祖母を、娘を、父を見送り…。
みんな子どもに還っていました。